

いわで 議会だより

2017.12

46

Contents

- 2 定例会議決結果
- 3 一般質問
- 9 常任委員会報告
- 10 全議員研修
- 11 表紙写真の募集
- 12 特集・放課後子ども教室の紹介
本会議開催予定日

岩出市議会ホームページ
<https://www.city.iwadelg.jp/sikai/index.html>
※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスでき
ます。



QRコード

平成29年第3回定例会議決結果

案 件 名	結果	賛否（○……賛成 ×……反対 –……賛否に加わっていない）															
		公明党議員団		日本共産党議員団		岩出クラブ		郁青青クラブ		ネット岩出			尾和弘一				
		田畑昭二	玉田隆紀	奥田富代子	市來利恵	増田浩二	福山晴美	梅田哲也	上野耕志	山本重信	松下元	三栖慎太郎		吉本勸曜	井神慶久	福岡進二	田中宏幸
職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
ねごろ歴史の丘物販・情報施設設置及び管理に関する条例の制定について	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度岩出市一般会計補正予算(第2号)	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度岩出市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	認定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌山県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市固定資産評価審査委員会委員の選任について(増田 充孝氏)	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
岩出市教育委員会委員の任命について(中村 嵩氏)	同意	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願書	不採択	—	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

* 案件名は、正式議案名ではありません。

決算審査特別委員会の審査

- 平成28年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定
- 平成28年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 平成28年度岩出市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 平成28年度岩出市水道事業会計剰余金の処分及び収入支出決算認定
- 平成28年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 平成28年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 平成28年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定

決算議案7件を審査するため、平成29年10月10日から10月13日まで開催しました。

決算審査特別委員会委員（9月8日選任）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 委員長 梅田 哲也（岩出クラブ） | 副委員長 田中 宏幸（ネット岩出） |
| 委員 井神 慶久（ネット岩出） | 委員 松下 元（郁青青クラブ） |
| 委員 三栖 慎太郎（郁青青クラブ） | 委員 上野 耕志（岩出クラブ） |
| 委員 奥田 富代子（公明党議員団） | 委員 増田 浩二（日本共産党議員団） |

一般質問

5名の議員が市政を問う

* 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
* 内容等については、質問者にお問い合わせください。

玉田 隆 紀 議員 4 頁

- ◎ 連携中枢都市圏について
- ◎ 図書館運営と環境整備について

奥 田 富代子 議員 5 頁

- ◎ 一乗閣について
- ◎ みんなのメダルプロジェクトについて
- ◎ 介護予防について

増 田 浩 二 議員 6 頁

- ◎ 保育料について
- ◎ 国民健康保険制度の運営と広域化について

市 来 利 恵 議員 7 頁

- ◎ 農免道路歩道設置工事について
- ◎ 後期高齢者の検診について
- ◎ デマンドタクシー(乗り合いタクシー)について

尾 和 弘 一 議員 8 頁

- ◎ 根来地区内について
- ◎ 有害生物について
- ◎ ストレスチェックに関して
- ◎ 市庁舎について
- ◎ 教育諸課題について



一般質問の傍聴にお越しく下さい!

◇一般質問項目の事前公表

一般質問における質問者・項目については、事前に岩出市議会ウェブサイトで公表していますので、ご覧ください。



玉田 隆紀 議員
(公明党議員団)

連携中核都市圏
LINK

質問

①総務省が進めている連携中核都市圏構想とは。
②和歌山市・岩出市・紀の川市・海南市・紀美野町の4市1町で、どのような計画か。

③影響とメリットは。

答 弁 市長公室長

①連携中核都市圏とは、人口20万人以上の中核都市や指定都市といった相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣市町と連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力あ

少子高齢化対策と

図書館運営

る社会経済を維持するために形成する圏域とされています。

②検討段階なので具体的に言えないが、地産地消の推進・外国人観光客の誘致・大学誘致と連携・災害時等における一般廃棄物処理の相互支援・

公共施設の相互利用等が候補にあり、今後検討する。

③連携する自治体双方に利益を享受できる取り組みでウイン・ウインの関係を築き、協議を進める。

質問

市民に不利益なことが発生した場合の対応は。

答 弁 市長公室長

市民サービスの低下や不利益が生じないように慎重に協議を進めているが、不利益と思われる場合は連携しない。

質問

最終的に市町村合併をめざしているのか。

答 弁 市長公室長

合併を目的にしたものではないと明確に申し上げます。



質問

①図書館利用者と運営は。
②書籍消毒機の設置は。
③自習スペースの考えは。

答 弁 教育部長

①平成28年度岩出図書館全体で、入館者数19万7,829人、貸し出し冊数40万553冊、貸し出し人数11万1,524人です。

また、平成28年度から貸し出し冊数を5冊から10冊に、視聴覚資料の貸し出し期間を1週間から2週間に変更し、平成29年度から貸し出し利用対象を和歌山県内在住者及び近畿大学生物理工学部に通勤・通学している方に拡大しました。

その結果、岩出図書館は、今年5月14日、入館者200万人を達成しました。
②書籍消毒機は紫外線を使って殺菌消毒し、送風により挟まったゴミや臭いを取り除く効果があり、感染予防に効果があるので、導入を研究している。
③平成27年7月から岩出図書館の分室である中央公民館図書室で図書等全て持ち込みでの学習が可能となり、利用者が増加しています。

岩出図書館の会議室の開放は、カウンターから目が届かず、防犯上問題があるので、自習室としての開放は考えていない。



奥田 富代子 議員
(公明党議員団)

不要小型家電で 五輪メダルを



旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）

旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）は重要文化財の指定を受けました。

一乗閣を観光資源として生かすよう認知度を上げる仕掛けが必要ではないか。

質問

- ① オープン後の入場者数と施設の利用数は。
- ② 案内表示を分かりやすくする考えは。
- ③ 市民と協力してイベントを開催してはどうか。

答 弁 事業部長

① 入場者数

1万6,032人

施設の利用数 22件

② 今後は、案内表示や情報提供に力を入れる。

③ 観光PRやイベントの開催など積極的に取り組む。

みんなのメダルプロジェクト

質問

① いつから小型家電の回収を行っているのですか。

② 回収量は。

③ 市民への周知は。

答 弁 生活福祉部長

① 平成27年度から。

② 17万3,893kg

③ 市広報紙・市ウェブサイト・チラシ配布する。

質問

オリンピックメダルに充てられる資源の量は。

答 弁 生活福祉部長

金0.36kg、銀15.64kg、銅1万1,216.8kg。

ただし、全てがメダルの資源になるというものではない。



介護予防について

日本人の平均寿命は男性80・75歳、女性86・99歳と発表されました。住み慣れた地域でいつまでも自分らしく生活するためには介護予防に取り組む、健康寿命を延ばすことが重要です。

質問

① 介護予防運動を行っているグループ数と参加者数は。

② フィットネスクラブによる減量と筋肉量のアップが効果的に図れる運動プログラムを伝授する取

り組みを取り入れる考えは。

答 弁 生活福祉部長

① シニアエクササイズ11グループ 193名
・ 岩出げんき体操6グループ 68名

② 現在のところ考えていない。

質問

① 介護予防運動の自主活動グループにどのような支援をしているのか。
② 先行している他の自治体を参考にする考えは。

答 弁 生活福祉部長

① シニアエクササイズの自主グループには年1回運動指導士による運動方法等の再指導、体力測定。岩出げんき体操には、自主活動開始後、6カ月ごとに理学療法士による運動方法の再指導、体力測定を実施している。

② 全国的にはフィットネスクラブ等を活用した介護予防事業を実施している自治体があるが、岩出市は法人に委託しているので想定しにくい。

高い保育料 引き下げを



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)



岩出市との年間保育料の差額
(3歳未満児保育料)

	第3階層	第6階層
海 南 市	118,800 円	160,800 円
紀の川市	68,400 円	103,200 円
田 辺 市	46,800 円	28,800 円
和歌山市	63,600 円	

質 問

①岩出市は、他の自治体と比べ高い保育料の状況。

若い世代に、大変な負担と思いませんか。

保育料の引き下げと階層区分の見直しを。

②人口減少対策として、まちづくりの中心課題は子育て支援と捉え、保育料の改善を図る自治体もあります。

人口減少対策も考え合わせた、保育料改善の方向性は。

答 弁 市長

①国の基準と比較して、妥当な金額と考えております。

延長保育、障害児保育など保育内容の充実に努めていることから、保育料の引き下げ、現時点は考えていません。

②少子化対策の方策の一つとして、保育料の引き下げを実施する考えはありません。

答 弁 生活福祉部長

①徴収階層区分は、国基準に準拠しており、見直す考えはありません。

国保広域化による加入者負担増させるな

質 問

①国保広域化素案では、一般会計からの繰入れは認めない方針です。繰入れなければ、27年度水準で一人当たり11,057円の値上げとなります。一般会計からの今後の繰入れ対応は。

②県の素案の資産割をなくす3方式では、低所得者にも大幅な値上げにな

るのは必至です。3方式に対しての来年度からの市の対応は。

③広域化に対する国保運営協議会の開催日程は。

答 弁 生活福祉部長

①国保税の収納事務などの財源確保の実施と医療費の適正化の取り組みにより、一般会計からの繰入金について、適切に対応してまいります。

②県は素案で、平成39年度をめどに資産割を除いた3方式への一本化をめざしていることから、今後検討することになります。

国・県・他市の動向を注視し、慎重に判断していきたい。

③来年の1月と2月を想定しています。



デマンドタクシーの導入を

交通弱者、買い物難民

をなくす取り組み、つくらない取り組みが必要不可欠です。いつまでも、住み続けられる岩出市をつくるためには、デマンドタクシーは必要な施策。

質問

①日常移動手段について、巡回バスの運用だけでなく後も補えると考えているのか。
②デマンドタクシー一人当たりのコスト試算は。



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

答弁 総務部長

①路線バスやタクシーと連携することにより、利便性の向上が図られるものと考えている。
②現時点で、デマンドタクシーの導入は考えていないことから試算は行っていない。

質問

今年6月、市長は免許証を自主返納しているが、今後の交通網の充実、交通弱者対策等、市長としての考えは。

答弁 市長

人との交流、交友関係を大きく広め、特に若い人たちとの交流を深め、外出時には乗せていただくという手段をとりたいと思っている。

質問

奈良県香芝市では、公共バスとデマンドタクシーを併用した事業を行っている。3年に一度アンケート調査を行い、常に分析し改善を重ねながら運行している。

市民目線、また、高齢者の生活環境を視野に入

れている等、行政サービスを公平に得られるようめざす点は学べるのではないか。

市民のニーズ調査やアンケート調査を行い、情報収集し、今、何が施策として必要か考えるべきだがどうか。

答弁 総務部長

他の自治体のデマンドタクシーの取り組み状況を情報収集、ニーズ調査の研究をする。

農免道路歩道設置工事について

質問

今年3月に、市道山西国分線の中黒地内において、歩道設置工事が完成された。完成間もなく新たな水道工事が行われている。市民から、なぜ、同時に工事が行われなかったのか。税金の無駄遣いではないかとの疑問の声がある。

当初の計画はどうか。

答弁 上下水道局長

水道管理設場所は、主



に北側の歩道の下に計画しており、歩道の路側擁壁溝施工後でなければ水道管の埋設が出来ないため、水道工事が着手まで仮舗装としていた。

道路の工事について、市民生活への影響を軽減できるよう、道路掘り返し規制連絡協議会等で情報を共有し、より一層、連絡調整を密に、計画的に工事を進めるよう努めていく。



尾和 弘一 議員

中央教育審議会の答申で教職員の長時間労働をなくすための答申が出された。

質問

勤務時間の把握、出退勤を管理するためにタイムカードの導入をして、実働の実態がどれくらいあるのか掴む必要があるかどうか。

留守番電話の整備、部活動の休養日、夏休みも閉校日を設けるべきである。

答 弁 教育部長

課題意識をもって既に教職員の出勤の管理は、県の規定にのっとり出勤簿で確認している。年に一度勤務実態調査を実施している。

教員に

タイムカード導入を

留守番電話について、今後の研究課題としたい。閉校日は、8月中に3日間、土日を含めて5日間設けている。

他の改革の実施時期については、体制が整っていくものから実施したい。

質問

有害生物について、最近、マダニにかまれて感染熱が出たり、重症化している。県下においての対策はどうか。

また、ヒアリ等の対策と今後の啓発及び方針についてどうか。

答 弁 生活福祉部長

全国に昔から生息している。ダニ媒介感染症を発症される方がおり、市内においても確認されている。市ウェブサイトや、ダニにかまれないためのポイント、かまれた時の対処法を掲載し、広報にも掲載する。

今後保健所と連携して注意喚起に努めたい。ヒアリについては、現在

在のところ発見されていません。

ヒアリを発見した場合、殺虫処理し、岩出保健所を通じて国に通報することとなっております。

今後関係機関と連携を密にし、住民への啓発を進めてまいります。

質問

根来地区内の住持池等周辺の森林が伐採され洪水や土砂災害が起こりうる可能性がある。

自然環境の破壊にならないようルールを定めた上で、開発の許認可がされているのか。

周辺の住民の同意があるのか。

この開発による災害はどうか。

森林の所有者は、誰なのか。

将来、何に使われるのか。

答 弁 事業部長

地元説明は、隣接する自治会と池管理者に行い、同意を得ている。

集中豪雨等による災害については、調整池を設けており、時間当たり15ミリで計画している。

所有者は(株)泰建である。食品製造工場ができる。出入口は、現在、工事している北側1カ所となる。



総務建設常任委員会

委員長	田中 宏幸
副委員長	梅田 哲也
委員	田畑 昭二
	福岡 進二
	松下 元
	上野 耕志
	増田 浩二
	尾和 弘一

視察レポート

10月26日、福岡県筑後市で「筑後市の観光について」、27日、熊本市で「熊本地震について」、視察してきました。

観光推進プラン

筑後市は、日本で唯一恋命を御祭神とする恋木神社を有し、人間の不変テーマである「恋」が宿る町というところに着目しました。

「恋」というキーワードにより筑後市を訪れる人、迎える人、筑後市に関わる全ての人々が、温かい幸せを感じていただける観光地をめざしていきます。

筑後市では、市内の観光振興に携わる団体で構成される筑後市観光戦略会議において、筑後市観光推進実施プランを策定し「恋のくに」ひと想つまち筑後」をコンセプトとすることに決定しました。

筑後市は、この観光コンセプトを核として、そこから4つの戦略を推進しています。

人づくり戦略

- ・おもてなし研修開催
- ・観光ボランティアガイドの育成

魅力づくり戦略

- ・恋グルPASS発行
- ・着地型観光商品の開発

ファンづくり戦略

- ・筑後PRキャラクターによる魅力発信
- ・恋のくにプロモーション動画の制作

ひろがりづくり戦略

- ・イエロープロジェクト（ソフトバンクカラー）限定グッズの制作

所感

「恋のまち」という明確なコンセプトを設定することに、ターゲットを絞ることに成功しています。また、そのコンセプトに向け、行政と各種団体が一体となり観光推進に取り組んでいる先進地の事例を学ぶことができました。

確かなコンセプトを設定することに、ターゲットを絞ることに成功しています。また、そのコンセプトに向け、行政と各種団体が一体となり観光推進に取り組んでいる先進地の事例を学ぶことができました。



地震時の議会対応

熊本市で、熊本地震の震災状況、地震後の議会対応及び熊本城の復興状況について、お聞きしました。

熊本市では、災害の経験から地域防災計画の改定を行いました。

その基本理念「市民・地域・行政の災害対応力強化」である6つのポイントは次のとおりとなります。

- ① 災害に強い都市づくり
- ・ひと・地域づくり（自助・共助の重要性）
- ② 行政の災害対応力の強化（職員スキルの向上）
- ③ 避難対策の強化（地域、学校、行政の連携による避難所運営）
- ④ 備蓄、供給体制整備。（家庭内、企業、地域による備蓄）
- ⑤ 広域の連携・受援体制の整備（人的支援、物資支援の受け入れ体制の充実）
- ⑥ 被災者の生活支援に向けたトータルケアの整備（罹災証明発行の早期対応）

災害時の避難所運営に向けた仕組みづくりとして、避難所となる施設をしっかりと管理し、地域に居住する職員等が一刻も

はやく避難所を開設する。次に、地域をよく知っている人が協力して避難所運営にあたる。

発災前からみんなで避難所の受け入れ方法や、ルール役割を決めておくことが重要。

所感

熊本市との意見交換の中で、地域住民の力、近所どうしのつながりがいかに大切であるかを再認識できました。担当者の「行政だけでは何もない。」という言葉が胸に響きました。



普通救命講習を受講 ～大切な命を救うために～



11月6日に全議員研修として、那賀消防組合消防本部の隊員の指導のもと、普通救命講習を受講しました。

救急の現状

那賀管内での平成28年中の救急出動件数は、過去最多となる5,159件で、前年度と比較すると2%の増加となり、4,894人の方を医療機関に搬送されている状況です。

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
紀の川市	2,807	2,854	2,733	2,908	3,009
岩出市	1,991	1,978	2,006	2,122	2,149
管外	2	2	2	2	1
計	4,800	4,834	4,741	5,032	5,159

(出動件数)

救急車は6台で、出動件数を一日平均で見ますと14件出動したことになり、紀の川市や岩出市の市民24人に1人が救急搬送されたこととなります。救急車は、通報を受けて約8分で到着し、救命措置を行っています。

また、重症傷病者を搬送するドクターヘリの要請件数は47件で、重篤な傷病者が発生した場所近くに医師と看護師が同乗したドクターヘリを要請し、救急隊と連携して、早期の治療を行っています。

医療機関に搬送した中で入院の必要のない軽症と診断された傷病者が、2,292人、率にすると46%のことです。

今後、私たちも含め、市民の皆様には、大切な命を救うため、救急車の正しい利用方法について、ご協力をお願いします。

講習内容

この講習は、いざというときに迅速な救命措置が講じられるよう、心肺蘇生やAED（自動体外式徐細動器）の操作方法を取得することを目的に開催いたしました。

講習内容は、救命措置の手順を解説していただき、「大声で周囲に助けを求め、AEDの手配と119番通報を指示する。」という救命措置の流れを実演し、マネキンを使用した心臓マッサージや人工呼吸を行いました。



所感

救急車が到着するまでの間に何もしなかった場合と、心肺蘇生を行った場合では、生存率に倍以上の違いがあり、もし、緊急の事態に遭遇した場合は、勇気をもって行動することが大切であると感じました。





「いわで議会だより」の表紙写真

イラスト等を募集

岩出市議会では、年4回（3月、6月、9月、12月）発行している「いわで議会だより」の表紙（A4縦）に、皆様から応募いただいた写真、イラストを掲載します。

たくさんのご応募を
心からお待ちしております。
詳細は、次のとおりです。



募 集 要 領

1. 受付期日

3月号……………12月20日まで
6月号…………… 3月20日まで
9月号…………… 6月20日まで
12月号 …… 9月20日まで

*ただし、期日が土曜日、日曜日、祝日の場合は、翌開庁日です。

2. 募集内容

岩出市内の「四季の風景」「催し物・イベント」「街並み」等岩出市の魅力をアピールできるような写真、イラスト等の作品

3. 応募条件

- ①岩出市内で応募者自身が撮影または描いた未発表のオリジナル作品です。
- ②作品は、カラー（縦）とします。
- ③人物が特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。
- ④提出された作品の著作権は、岩出市に帰属されるものとします。
（著作権法第27条及び第28条の権利を含む。）
- ⑤提出された作品は、返還いたしません。
- ⑥応募者は、市内在住者又は市内に勤務・通学されている方に限ります。
- ⑦採用された方には、掲載が決定後、連絡を行います。

4. 選 考

岩出市議会広報常任委員会が選考します。

5. 紙面への掲載

- ①紙面へは、カラーで、氏名、学校名及び撮影場所等を掲載します。
- ②岩出市議会広報常任委員会で作品のトリミング等を行う場合がありますので、ご了承願います。

6. 応募方法

撮影者、製作者の住所・氏名・電話番号・作品名・撮影場所・撮影年月日等をご記入の上、次の宛先までご応募ください。
なお、応募に係る費用は、応募者の負担でお願いします。

7. 応募先

（郵送の場合）

〒649-6292 岩出市西野 209 番地
岩出市議会広報常任委員会 宛

（メールの場合）

E mail : gikai@city.iwade.lg.jp

8. そ の 他

採用された方には、粗品を進呈します。

9. 問い合わせ先

岩出市議会事務局

電 話 : 0736-61-6947 (直通)

F A X : 0736-61-6946



放課後こども教室を 紹介します

生花教室



子どもたちに「いけばな」をとおして植物に親しみ、ものを作る喜びや楽しさを体験していただくため、開催しています。一花一木を手に取り、枝の形や花や葉の形、色などその表情を見ながらお花を生けることで、子どもの好奇心や感性が刺激され、創造性と個性を育てています。また、長い伝統の中で見出された、花の特徴を生かした生け方を学んでいます。



子どもたちに聞いてみると「花の名前を覚えた」「楽しかった」などの感想が返ってきました。自分だけの作品を自分で作り上げる責任感と達成感。できる限り美しく咲かせておくための水やりや笑顔で楽しみながらの挨拶、お片付けなどの作法を身につけていきます。

小学校の良い思い出に参加してはどうですか。

12月 4日(月)	行政報告・議案説明
8日(金)	質疑・委員会付託
18日(月)	討論・採決
20日(水)	一般質問
21日(木)	一般質問



議会広報常任委員会

(委員長) 山本 重信 (副委員長) 市來 利恵
 (委員) 福山 晴美 福岡 進二 田中 宏幸 三栖慎太郎 奥田富代子 尾和 弘一